



Title	笑顔の素敵な井戸さん
Author(s)	高野, 正子
Citation	井戸武實の歩みと追悼集. 2025, p. 28
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/100730">https://hdl.handle.net/11094/100730</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 笑顔の素敵な井戸さん

高 野 正 子

元大阪公衆衛生協会会長

大阪公衆衛生協会の事務所のドアを開けると「先生いらっしゃい」と大きな声でいつもにっこりと出迎えてくださった井戸事務局長。笑顔の素敵な方でした。

大阪公衆衛生協会が「ストップ結核パートナーシップ」を新たな事業として位置づけた年に、井戸氏は事務局長に就任されました。私は2017年から4年間一緒に仕事をした仲間です。不慣れな事務の仕事にも関わらず、嫌な顔一つせず、不満を口にすることは一度もありませんでした。どなたにもいつもニコニコ笑顔を絶やさず接する姿にはいつも感心させられました。

事務局長としての活躍を初めて目にしたのは、2006年に日本公衆衛生学会が20年振りに大阪で開催された際のことです。会員の方々のご協力により大阪公衆衛生協会の歩みをまとめ、大阪公衆衛生協会のブースを開設し報告することができました。大阪公衆衛生協会の歩みは大阪公衆衛生の歴史そのものでした。その際の彼の働きぶりは素晴らしかったと記憶しております。

また、HPを開設し協会の活動を報告する等積極的な取り組みにも着手しました。

事務局長とは大阪府内色々な所に、色々な用件で伺い、色々な思いを持って帰りました。しかし彼はどの場面でも笑顔で対応、救われました。ありがとうございました。

大阪公衆衛生協会は2021年3月にやむなく解散いたしました。解散に際し、1958年7月に刊行された機関紙「公衆衛生」最終巻総集編までの全巻が、大阪大学林田教授のお諮りもあり大阪大学総合図書館にて閲覧可能となっております。事務局長として最後までその役割を果たして下さいました。改めて感謝申し上げます。

事務局長として仕事をする中で、彼の気持ちを支えていたのは「結核パートナーシップ」事業を通して大好きな結核の仕事に関わることが出来たからだだったと思います。その一つの例として、事務所でいつも以上にニコニコソワソワしながら会議の準備をする場面がありました。この時は決まって「結核」を一緒に語る方々との勉強会やワークショップの打ち合わせの時でした。勿論ワークショップ当日は嬉しさがどこから見ても溢れ且きびきびと働く姿を思い出します。

また、井戸氏は度々保健師さんにあいりん地区活動を現地で講義して下さい、皆感謝、感激していたことを思い出します。

協会解散後も「結核パートナーシップ」事業が継続され、井戸氏が最後まで活動にかかわることができたこと本当に幸せだったことでしょう。

井戸さんはエレベーター、エスカレーターは使わず、どこでも階段を駆け上り下り、腹筋は毎日百回、人一倍健康に気を遣われていらしたのに残念です。

日々忙しく働いていらした井戸さん、奥様を愛し、家庭を愛していらした井戸さん、笑顔の素敵な井戸さん、どうぞゆっくりお休みくださいませ。